

6月8日（金） 10:30～11:50

国際会議ホール（インテックス大阪 KENTEN会場内）

『コミュニティデザインについて』

社会の課題を解決しようとするときに、とるべき態度がいくつかある。制度や法律によって解決しようとする態度や、経済によって解決しようとする態度。一方で、美と共感によって解決しようとする態度も考えられよう。それがソーシャルデザインと呼ばれるアプローチである。具体的な方法はいくつかある。環境に配慮する方法、使いやすさに配慮する方法など。そのうち、利用者や市民の意見を聞きながらデザインを進める方法がコミュニティデザインである。本講演では、コミュニティデザインの実例を通じて市民参加によるプロジェクトの可能性と限界について考えてみたい。

講師



studio-L代表 コミュニティデザイナー、社会福祉士 山崎 亮 氏

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士（工学）。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。

著書に『ふるさとを元気にする仕事（ちくまプリマー新書）』、『コミュニティデザインの源流（太田出版）』、『縮充する日本（PHP新書）』、『地域ごはん日記（パイインターナショナル）』などがある。

講師



空間のシェアが豊かな居心地を生む戸建分譲地 「トモニハ」

東邦レオ株式会社 グリーンライフスケープ事業リーダー 喜多 俊二 氏



お申込みは
こちらから

<https://www.ken-ten.jp/seminar/>